



夕刊 行發日四月一十

海の陰影

(一)

お別れしてから今日で一週間になりますね元氣でお返すか。こつこつと着いて、酒場のテーブルで...

晩霞先生に

島田 忠 先生が家へ歸らねばならぬ。然るに、お返りなす。...

女長兵衛

東京 新波南史 (魚崎湖書) 把定期要横谷口 放下也月落寒潭...



お話しは少しく後へ戻りますが、此處に芝田備前町に、穴澤流の難刀の指南で...

拈華微笑 防波堤を越え 天地漸く蕭殺の之の話しで切つてゐるが...

時 代 警 告 (石津) 淵明だつて年中南山を見詰めて居たのでも、あるまいし、玉雉も好んで竹藪の中に...

安齋科醫院 平町田町 電話四七五番 入院隨意(自炊の便あり) 外科 線科門

吉田眼科病院 平町紺屋町 小鳥の期節となりました 是非一度御試食を...

上田醫院 病室完備 (電話二一九) 外科 線科門 一圓十銭のフランスス...

木村外科醫院 平町六丁目(橋際) 電話三〇九 内臓外科一般 (入院隨意) 外科花柳病科...

山崎合名會社 味噌醬油 池ノ坊流 生花教授 須藤まつ子の 須藤まつ子の

